

ご協力ありがとうございました

特別定額給付金99・96%で給付完了しました！

【問合せ】仙北市特別定額給付金推進本部(総務課内・田沢湖庁舎) ☎(43)1111
5月の連休過ぎから申請受付を始めた特別定額給付金事業は、8月13日をもって受付を終了し、対象となる市民2万5621人のうち2万5610人(99・96%)から申請していただき、総額25億6100万円の給付金を市民の皆さまにお届けすることになりました。

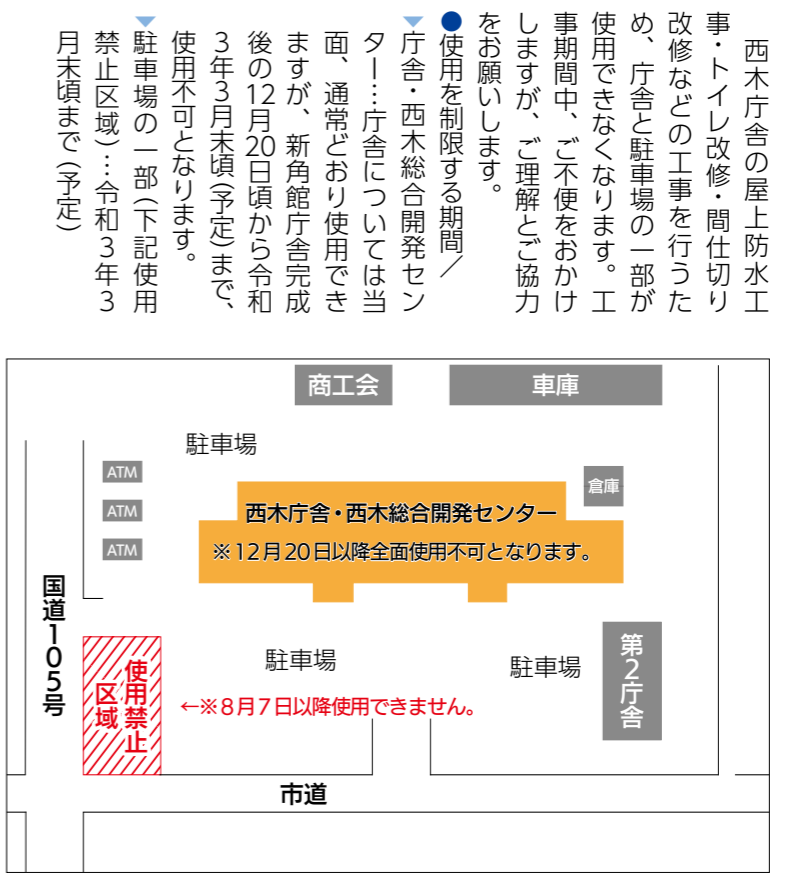
仙北市新規事業継続チャレンジ支援事業補助金

【問合せ】商工課(中町庁舎) ☎(43)3351
仙北市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者へ、事業継続するための新規事業展開や事業形態の転換の経費の一部を補助しています。
●補助対象経費
① 安心安全を確保するための事業：施設などの消毒や清掃衛生対策のための消耗品や備品の調達、改修などに必要な経費
② 売上向上や消費喚起に向けた事業：売上向上や消費喚起に向けた事業などの実施に必要な経費
③ 事業継続に向けて新たに実施する事業：生産性の向上、事業継続の取組などの実施に必要な経費
④ 密集・密接・密閉を回避するための

国勢調査を行います

【問合せ】企画政策課(田沢湖庁舎) ☎(43)1112
国勢調査は、日本に住むすべての人と世帯を対象で、5年に1度全国で一斉に調査が行われます。「日本に住む人や世帯」について知ることで、生活環境の改善や防災計画など、私たちの生活に欠かせない様々な施策に役立てられる大切な調査です。
9月14日から、調査員が順次各世帯を訪問して調査書類を配布しますので、ご協力をお願いします。
回答方法はインターネット、郵送、または調査員への提出の3通りです。
① インターネットからの回答
回答サイト(https://www.e-kokusei.go.jp/html/portal/ja/top.html)にアクセスし、調査書類の中の「インターネット回答利用ガイド」を用いて画面の案内に沿って回答してください。
【回答期間】9月14日(月)～10月7日(水)
敬老祝金を贈ります
【問合せ】長寿支援課(長寿いきがい係)西木庁舎 ☎(43)2281
仙北市では満80歳の方に敬老祝金を贈呈しています。
老人の日(9月15日)以降、対象者のお手元にお届けします。
なお、贈呈は、地域の民生委員に協力をお願いします。
●今年度の祝金対象者/昭和14年9月16日～昭和15年9月15日生まれ(80歳)
●祝金/5千円
※9月15日現在、仙北市に3年以上住所を有し居住している方への贈呈となります。

西木庁舎改修工事に伴い、庁舎と駐車場の一部の使用が制限されます



仙北市文化祭の中止のお知らせ

【問合せ】仙北市文化祭実行委員会事務局(各地区)
今年度、田沢湖、角館、西木各地区で、開催を予定していた「仙北市文化祭」について、仙北市文化祭実行委員会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止にしました。
●問合せ先
田沢湖公民館内 ☎43・1061
角館公民館内 ☎54・1110
西木公民館内 ☎47・3100

未来農業のフロンティア育成研修生を募集します

【問合せ】農業振興課(西木庁舎) ☎(43)2206
新たに農業を開始する方などを対象に、実習や講座を通じて営農に必要な知識や技術を習得する研修生を募集します。
●応募資格
① 新たに農業を開始する方などで農業で自立する意欲が高いこと
② 研修終了後に県内で就農すること
③ 原則50歳未満の方
●募集期間/9月1日(火)～10月9日(金)
●応募方法/農業振興課にお問い合わせください。

旧田沢湖町の名誉町民伝記を無料で配布します

【問合せ】総務課(文書広報係)田沢湖庁舎 ☎(43)1111
旧田沢湖町が編集した名誉町民の伝記を、仙北市市制15周年を記念し、希望する仙北市民に無料で配布します。
配布する伝記は「名誉町民 佐藤信義とその時代」「名誉町民 千葉広善とその時代」「編著者/大山文夫」です。
数に限りがありますのでお早めにお問い合わせください。
※郵送での配布はできません。窓口にお声がけください。
※発行から年数が経過しているため日焼けや傷がついている場合がありますので「ご了承ください」。

Information about the book '名誉町民千葉広善とその時代' (Honorary Citizen Chiba Hiroyoshi and His Era), published in January 2014. Includes a photo of the book cover and a QR code.

角館祭りのやま行事実行委員会からのお知らせ

今年の角館のお祭りのしるし

【問合せ】
(一社)田沢湖・角館観光協会(角館駅前蔵) ☎(54)27000
仙北市観光課(中町庁舎) ☎(43)33352

毎年9月7・8・9日に行われる「角館祭りのやま行事(通称・角館のお祭り)」について、角館祭りのやま行事実行委員会では、十分な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ができないという結論から、6月17日に開催された実行委員会、令和2年「角館祭りのやま行事」における曳山運行、大置山や舞台の設置などを中止することにし、祭典関連行事および交通規制を実施しないことになりました。

なお、角館総領守神明社での例祭(7日)および勝楽山成就院薬師堂での法楽(8日)は、三密対策などを行ったうえで、それぞれ実施される予定です。また神明社御神輿渡御(8日)および薬師堂御輿巡行(9日)についても規模を縮小し実施される予定です。

角館のお祭りが集団感染(クラスター)の発生源となることは、避けなければなりません。新型コロナウイルス感染症が全国(特に大都市圏)で感染拡大を続けている中、秋田県や仙北

市でも感染予防対策の徹底をお願いしているところですが、「一人ひとりの距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」をはじめとした基本的な感染症対策に加え、クラスターの原因となりうる「密閉」「密集」「密接」の「三つの密」の3条件が重なる場を避けていただくようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が収束することを願うとともに、来年の角館のお祭りが実施できるよう、皆さまと知恵を出し合っていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いたします。

●角館祭りのやま行事実行委員会構成団体/角館のお祭り保存会、曳山責任者会議、角館祭禮張番協議会、仙北市商工会、(一社)田沢湖・角館観光協会、仙北市、仙北市教育委員会

※詳しくは仙北市ホームページ <https://www.city.semboku.akita.jp/event/event.php?id=1069> をご覧ください。



考えてください！未来の命、猫の飼い方

【問合せ】市民生活課(角館庁舎) ☎(43)33313

猫は繁殖力が極めて強い動物です。発情が年2〜3回、1回に平均5匹出産します。外飼いに野良猫への餌やりの結果、望まない繁殖により数が増え、糞尿などの被害が発生しています。

管理できないほどの多頭飼育は、飼い主の生活だけでなく、近隣住民へ影響を与えます。また、外飼いの猫は病気、ケガのリスクも高く、寿命は3〜4年と言われ、室内飼いの約15年に比べ、短くなります。「かわいそう」と無責任に餌をあげたり、トイレがめんどくさいと外飼いにすることで、猫が悪者になり、最も被害を受けることになりまます。そして、飼い主自身も周囲との関係が悪化し、孤独な辛い立場になるケースが多々見られます。

秋田県では引き取られた猫たちの譲渡事業を実施しています。が、幼弱、病気、警戒心が強ければ、なかなか譲渡にはつながりません。また、里親になる方には限りがあります。

不適切な飼育、遺棄は動物虐待という犯罪です。適正な飼い方をお願いします。そして、飼



猫の飼い方

- 1 だきニャン(屋内飼育)
- 2 すてニャン(終生飼養)
- 3 ふやニャン(繁殖制限)

ハチ「ご」注意ください！

【問合せ】市民生活課(角館庁舎) ☎(43)33308

夏から秋にかけてハチの活動が活発化する時期となります。特にスズメバチは危険性が高いため、巣を発見した場合はうかつに近寄らないことや、自分や周囲に被害が出る前の早期駆除が重要です。

駆除については、ハチが営巣した建物や土地の所有者(管理者)が行うこととなりますので、駆除業者に依頼するなど安全面に注意して行ってください。

ハチに刺されないために

- ▶ 黒い色に反応しやすいので、黒っぽい服装を避ける。
- ▶ 香水や制汗スプレー、整髪料の匂いに反応することがあるので注意する。
- ▶ 巣を刺激しない。
- ▶ 洗濯物を取り込む際、ハチがまぎれ込んでいないか確認する。

粗大ごみの出し方について

【問合せ】市民生活課(角館庁舎) ☎(43)33308

秋の粗大ごみ回収が9月から始まります。ごみ収集カレンダーにも記載していますが、粗大ごみの出し方や回収対象外のごみをお知らせしますので、粗大ごみを出す際はご確認ください。

市では回収しないもの(専門の業者に処理を依頼してください)

- ▶ 粗大ごみの出し方
 - ▶ 粗大ごみに集積所名と名前を記載する。
 - ▶ 家具に付属しているガラス・鏡などの不燃物は取り除く。(ガラス・鏡・陶器類は不燃物回収日に、ごみ袋に入れてお出しください)
 - ▶ スプリング入りマットレスやソファはスプリングを取り除く。(スプリングは鉄くず処理業者へお問い合わせください)
 - ▶ じゅうたん・シートなどは幅1mに切断する。(長さはそのままで構いません)
 - ▶ ストープ内の灯油は空にする。
 - ▶ 家電製品は電源コードを根元から切断し、コードは小さなナイロン袋などに入れて、粗大ごみとともに出す。
 - ▶ 市では回収しないもの(専門の業者に処理を依頼してください)
 - ▶ テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機
 - ▶ モーターや原動機ついたもの(草刈機、マサージチェア、動力噴霧器など)
 - ▶ 建築廃材(石膏ボード、スタイロフォーム、業者による解体後の建築廃材)
 - ▶ 農業や事業に伴う廃プラスチック(マルチ、肥料袋、育苗箱など)
 - ▶ 自動車・バイクの部品、タイヤなど
 - ▶ ドラム缶、耐火金庫、ピアノなどの市で指定する処理困難物
 - ▶ 農薬、薬品類、塗料、エンジンオイルなど
- ※ごみの分別の詳細については、仙北市ホームページ内「仙北市ごみの出し方便利帳」に記載しています。



地域の未来のために、私たちができることはなんだろう？

あたり前の暮らしをこの先もずっと続けるために、私たち一人ひとりが考え、行動に移すことが大切です。SDGsは、「誰一人取り残さない」社会を実現する世界共通目標です。全部で17個あるSDGsの目標のうち、今号で紹介するのは「目標12」です。

問 ▶ 仙北市地方創生・総合戦略室 ☎ 43-3315

私たちにできるSDGsの取組

- ▶ 洗える/手作りマスクを繰り返し使う
- ▶ 食べ物を買いすぎない、作りすぎない、残さない
- ▶ フードバンクに食料品を寄付する *1
- ▶ リユース(再使用)、リデュース(ごみを出さない)、リサイクル(再生利用)の3Rを心がける

*1 仙北市役所(各地域センター、各出張所)、仙北市社会福祉協議会で受け付けています。



残さず食べて、食品ロスを減らしましょう！

みんなで取り組む

エスディーゼーズ

SDGs

vol.2

17の目標から今回紹介するのは…



SDGs 目標12 つくる責任 つかう責任

皆さん、日々の暮らしで“節約”していますか？必要以上に買い過ぎたり、資源を無駄に使ったり、廃棄したりしていませんか？私たちの暮らしは、地球が作り出してくれる資源やエネルギーによって成り立っています。欲しいものが簡単に手に入り、便利で快適な暮らしの代償として、限りある資源が大量に消費されていることを忘れてはいけません。

地球環境、地域の未来を考えた消費活動を心がけましょう！！

問題になっていること

- ▶ 資源やエネルギーの大量消費
- ▶ 食べ物が大量に廃棄される「食品ロス」(日本国内において年間約612万トン)

